

**基本目標1 子どもたちの夢・希望の実現に向けた学びと社会の変化に対応した教育を推進します**

子どもたちの夢や希望の実現に向け、生きる力の根幹となる確かな学力と豊かな心、健やかな身体を育むとともに、社会の変化に対応できる力を身につけるための教育を推進します。

## (1)「基本目標1」の実現に向けた、現状と課題の整理

**【現状】**

## 《施策の柱 1-1 関連》

- ・「全国学力・学習状況調査」における正答率は、令和元年度には小中学校ともに全国を上回ったものの、令和3年度は小学校の指数が全国を下回っており、学力の定着が十分とはいえない状況にある(令和2年度調査は中止)。
- ・「全国学力・学習状況調査」で「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童生徒の割合が2年連続して前年より低下している。
- ・「GIGAスクール構想」に基づき、1人1台端末環境を活用した効果的な教育活動の推進が全国的に求められている。
- ・インターネットの活用により、不審者情報の伝達など生活の向上につながっているものの、その一方で全国的にSNSを介したいじめや犯罪なども発生している。

## 《施策の柱 1-2 関連》

- ・道徳教育の充実を図っているが、「全国学力・学習状況調査」で「人が困っているときは進んで助ける」と回答した児童生徒の割合が、中学校は全国を上回るものの、小学校は下回った結果となっている。

## 《施策の柱 1-3 関連》

- ・教員の専門性や指導力向上を図るための研修を行っているが、体育の授業で高い指導力を有する若手・中堅職員が少ない状況にある。

## 《施策の柱 1-4 関連》

- ・「小・中学校での学びを意識して系統的な学習指導・生徒指導を行っている」と積極的な回答をした小・中学校教職員の割合はいずれも70%を超える高い数値となっている。

## 《施策の柱 1-5 関連》

- ・赤間硯や箏、彫刻などの体験的な学習活動を実施し、本市の伝統文化や工芸品について理解を深めることができたが、伝統文化の授業を担える専門講師が少ない状況にある。

- ・彫刻鑑賞では、これまでのガイドツアー方式を見直し、グループ形式による、子どもたち自身の感性で作品を鑑賞することが出来るワークシートを開発した。

《施策の柱 1-6 関連》

- ・ニューカッスル市へ派遣した中学生から、「たくさんの体験と経験を、これからの英語の勉強に役立てていきたい。」など、将来に繋げたい思いが意見として出ている。応募人数も増加傾向にある。



**【課題】**

《施策の柱 1-1 関連》

- ・子どもたちの学習意欲を高め、基礎的な学力の定着を図るとともに、自ら課題を見つけ解決する力を確実に身に付けさせるため、「個別最適な学び」と「学び合い」のある授業の実践に取り組む必要がある。
- ・1人1台端末などICTを活用した教育効果の高い授業実践が必要である。
- ・情報化の進む社会において、情報を正しく読み取り、適切に活用するなど、情報についての理解力を高めていくことが必要である。

《施策の柱 1-2 関連》

- ・子どもたちの豊かな心と健やかな心の育成のためには、道徳に関する研修会等による授業の内容の充実が必要である。

《施策の柱 1-3 関連》

- ・子どもたちの健やかな身体を育むためには、体力テストの結果を踏まえた体力向上に向けた指導の充実や、体を動かし、スポーツに親しむ機会の提供が必要である。

《施策の柱 1-4 関連》

- ・子どもたちが指導の連続性を感じ取れるよう、小中学校 9 年間を見通した指導や乗り入れ授業の計画的実施、また小学校入学時の指導につなげるため保育所・幼稚園との連携も必要である。

《施策の柱 1-5 関連》

- ・本市の歴史や伝統文化を子どもたちに伝えるため、専門的な講師や教材を確保するとともに、教員に対して伝統文化などへの理解や知識の習得を図る必要がある。
- ・彫刻教育により、子どもたちが美術の知識だけでなく、想像力や豊かな感性、伝える力、話を聞く力なども伸ばすことが求められている。

《施策の柱 1-6 関連》

- ・社会のグローバル化の進展に伴い、外国語を通じた基礎的なコミュニケーション能力や異文化を理解・尊重する感性を備えた、国際社会で主体的に活躍できる人材の育成が必要である。

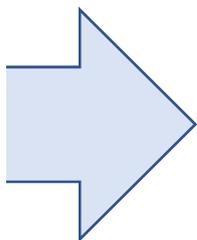
(2) 現状と課題を踏まえ、基本目標1で取り組む施策と目標指標について

施策の柱 (連携する主体)	個別施策
1-1 「個別最適な学び」と「学び合い」を通して、 確かな学力を保障します 学校 家庭 地域	1 学力向上推進事業 <<重点1>> 2 GIGA スクール構想推進事業 <<重点2>> 3 指導体制の充実
1-2 思いやりと自立の心を育成します 学校 家庭 地域	1 道徳教育の充実 2 体験活動の推進 3 読書活動推進事業
1-3 体力向上と健康教育を推進します 学校 家庭 地域	1 体力向上に向けての取組及び健康教育の推進 2 子どものスポーツ活動の推進
1-4 保幼小中の繋がりを推進します 学校 家庭 地域	1 保幼小連携教育推進事業 2 小中一貫教育の推進
1-5 ふるさとを愛する心を育みます 学校 地域	1 宇部の精神(こころ)を知る事業 2 伝統文化推進事業 3 彫刻教育推進事業
1-6 未来への可能性を広げる教育を推進します 学校 地域 市	1 英語教育推進事業 2 青少年国際交流事業 3 キャリア教育推進事業 <<重点3>>

基本目標1に関連するSDGs



	目標指標	現状値 令和3年度末	目標値 令和8年度末
1-1	全国学力・学習状況調査の結果(全国正答率を100とした場合の本市の指標)	小学校 94.2 中学校 100.7	小学校 102.0 以上 中学校 102.0 以上
1-2	「人が困っているときは進んで助ける」と積極的に回答した児童生徒の割合(%)	小学校 39.8 中学校 47.7	小学校 45.0 中学校 50.0
1-3	全国体力・運動能力調査の合計点(全国を100とした場合の本市の指標)	小学校(男子)94.28 (女子)92.92 中学校(男子)99.08 (女子)99.40	小学校 男女とも 100.0 中学校 男女とも 100.0
1-4	中学校教員による乗り入れ授業回数(中学校1校あたりの平均回数)	10	15
1-5	地域の様子やできごとに関心がある児童生徒の割合(%)	小学校 32.6 中学校 19.8	小学校 38.0 中学校 25.0
1-6	なりたい職業がある生徒の割合(%)	46.8	55.0



(3) 各施策の取組

【施策の柱 1 - 1】「個別最適な学び」と「学び合い」を通して、  
確かな学力を保障します

■ <1-1-1> 学力向上推進事業 **重点的取組 1**

「個別最適な学び」と「学び合い」を一体的に推進することにより、子どもたち一人ひとりの学習意欲を高め、確かな学力の定着を図ります。

- 1 外部講師を招聘して「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善研修会等を実施することにより、教員の授業実践力の向上に取り組んでいきます。
- 2 中学校区における小中一貫教育カリキュラムの活用や小中合同研修会、授業研究会の実施など、9年間を見通した指導体制を充実させることにより学力向上を図っていきます。
- 3 「学力向上推進協議会」を設置し、児童生徒の学習課題を分析検証しながら、課題解決に向けた授業改善を進めていきます。
- 4 学習プリントや1人1台端末を持ち帰ったデジタルドリルによる学習など、家庭学習の支援を進めます。

**学力向上推進協議会**

児童生徒の学力向上を推進することを目的として、学力向上に係る授業研究や調査等を行うために設置された組織。

多様な子どもたち一人ひとりに応じた個別最適化された学びを通して、確かな学力を身に付けさせるため、1人1台端末環境を活用した「主体的・対話的で深い学び」のある授業づくりを推進します。

- 1 これまでに導入したデジタルドリル活用の成果や課題を検証しながら、効果的なソフトウェアの活用を進めていきます。
- 2 情報と正しく接し、情報を正しく読み取り、情報を取捨選択し、知識として活用する力を育む情報活用能力の育成に取り組みます。
- 3 研修等を通じて、教員のICT活用能力を向上し、ICTを活用したより効果的な授業づくりを進めていきます。
- 4 1人1台端末や電子黒板等の計画的更新・整備を進め、ICT環境を充実していきます。
- 5 1人1台端末を活用した教育活動を円滑に実施するため、ICTコーディネーターや専門業者による支援体制を整えます。
- 6 新型コロナウイルス等による学級閉鎖や臨時休校時の学びを保障するため、全家庭でオンライン学習ができる環境を整えます。



### ■ <1-1-3> 指導体制の充実

学校の教育課題に的確に対応し、子どもたちの確かな学びを保障していくためには、教職員の指導力向上が必要であることから、年間を通じて、管理職や、職務の経験年数に応じた研修を行っていきます。

また、部活動指導員や教員業務アシスタント等を配置し、教員が子どもと向き合う時間を確保することで、指導の充実を図ります。

#### 部活動指導員

校長の監督を受け、部活動の指導や大会への引率等を行うサポート職員。

#### 教員業務アシスタント

多忙を極める教員の負担を軽減し、教員が一層児童生徒の指導等に専念できるよう、資料の作成や授業の準備等の支援を行うサポート職員。

## 【施策の柱1－2】思いやりと自立の心を育成します

### ■ <1-2-1> 道徳教育の充実

思いやりの心や命を大切にする心などの道徳性を育むため、各校で道徳教育に関する研修会を実施していきます。また、「やまぐちっ子の心を育む道徳授業」指定校などの好事例を共有し、各校の道徳教育を充実していきます。

### ■ <1-2-2> 体験活動の推進

「アクトビレッジおの」や「赤間硯」、「箏」等を活用した自然体験活動、集団宿泊活動、ボランティア活動等を通じて、子どもたちの豊かな心や道徳性を育成していきます。

### ■ <1-2-3> 読書活動推進事業

学校図書館司書を中心に魅力ある図書館環境を整備するとともに、保護者・地域ボランティアとの連携による読み聞かせや本の紹介等を充実することにより、児童生徒の読書に対する意欲を高めていきます。



## 【施策の柱1－3】 体力向上と健康教育を推進します

### ■ <1-3-1> 体力向上に向けての取組及び健康教育の推進

児童生徒の体力を向上させるため、各校の課題解決に向けた取組の共有や指導方法を学ぶ研修を実施していきます。

小中学校においてメディアとのふれあい方を考える日を設定するとともに、家族・地域ぐるみでメディア・コントロールの必要性について考えることができるようにしていきます。

武道については、我が国固有の伝統と文化への理解を深める観点から、技能の習得を通して、礼を重んじた指導を行い、よりよい人格形成をめざします。

「新しい生活様式」の感染症対策を実践するとともに、食事、睡眠、運動のバランスを図る健康教育を推進します。

### ■ <1-3-2> 子どものスポーツ活動の推進

財政支援と魅力あるスポーツ交流会を継続していく中で、運動プログラム(ACPなど)をスポーツ少年団へ加入前の児童へ実施するなど、早い時期から、運動・スポーツへの関心を深めていきます。また、トップアスリートによる子ども夢教室の開催を通じて、「夢」を抱き、チャレンジすることの素晴らしさを知るきっかけや、豊かで強い心を育むスポーツ活動を推進していきます。



### メディア・コントロール

各種メディア（テレビ、テレビゲーム、インターネットなど）を見る機会を制御すること。

## 【施策の柱1－4】 保幼小中の繋がりを推進します

### ■ <1-4-1> 保幼小連携教育推進事業

保育所・認定こども園・幼稚園の幼児と小学校の児童との交流活動や保幼小の教職員の連絡協議会などにより保幼小連携の強化を図っていきます。また、指導主事等が保育所・認定こども園・幼稚園を訪問し、就学についての支援や助言を行っていきます。

さらに、市主催の保幼小連携教育研修会におけるスタートカリキュラムの見直し等の協議など、保幼小が相互理解を深める場を設け、よりよい連携につなげていきます。

### ■ <1-4-2> 小中一貫教育の推進

9年間を見通した教育目標やカリキュラムを柱に、つながりのある教育活動を推進するため、[4－3－2制]の学年区切りを導入するとともに、小学校5・6年生における教科担任制や中学校区における児童生徒の交流授業、小中学校教職員の相互乗り入れ授業等を実施することにより、小学生の中学校進学時の不安感を軽減します。

さらに、中学校区ごとの推進体制を構築・強化し、家庭や地域とも連携しながら、特色ある取組を進めます。



## 【施策の柱1－5】ふるさとを愛する心を育みます

### ■ <1-5-1> 宇部の精神(こころ)を知る事業

ふるさと学習副読本「わたしたちの宇部」や「ふるさと宇部」を活用して、人々の努力によって宇部が作られた歴史や地理・産業など幅広く宇部について学ぶことで、「宇部の精神(こころ)」(宇部を誇りに思う心)を育てていきます。

### ■ <1-5-2> 伝統文化推進事業

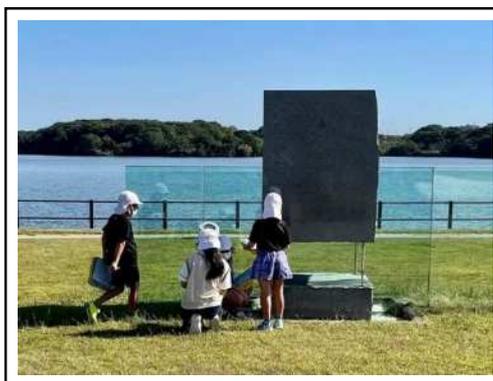
本物の赤間硯を使う書写体験(小学校)や演奏体験(中学校)を実施することで、赤間硯や箏の特徴や歴史を学び、宇部市の伝統や文化について理解を深め、国際社会で活躍する人材の育成を図ります。

### ■ <1-5-3> 彫刻教育推進事業

自分たちの身近にある彫刻をそれぞれの心で楽しみながら、まちに対する誇りや郷土愛を醸成するとともに、アートを介して、観察力、思考力、他者を理解する心を育み、主体的で豊かなコミュニケーションが生まれる彫刻教育の充実を図ります。

小中学生を対象とした彫刻及び模型鑑賞授業や作家との交流によるワークショップ等の実施に加え、ICTを活用した彫刻教育を推進します。

地域や団体、大学等での講座開催など、多世代や様々な条件を持つ人たちにも対応しながら彫刻教育の普及促進を図り、生涯学習等にもつなげます。



## 【施策の柱1－6】 未来への可能性を広げる教育を推進します

### ■ <1-6-1> 英語教育推進事業

ALT派遣(小中学校全学年)やオンライン英会話の実施(中学校全学年)、英検受検料の助成(3級以上)により、英語でコミュニケーションを図ることに対する意欲を高めるとともに、実践的な英語力の向上を図ります。

### ■ <1-6-2> 青少年国際交流事業

国際的に活躍できる人材の養成と、姉妹都市との交流によって友好親善と相互理解を深めるために、市内の中学生を姉妹都市に派遣します。

### ■ <1-6-3> キャリア教育推進事業

#### 重点的取組 3

将来の社会的・職業的な自立に向けて必要となる資質・能力の育成を図るため、地域の特性を活かしたキャリア教育を推進します。

- 1 コミュニティ・スクールの仕組みを活用しながら、地域人材を活用した学習や職場体験学習などを充実します。
- 2 家族への感謝や将来の夢を発表する「1/2 成人式」(小学校)や将来の職業に対する志や具体的な目標を発表する「立志式」(中学校)を開催します。
- 3 小学校から高等学校までの12年間の職業・進路・人生についての学習記録をまとめた「キャリアパスポート」を作成し、子どもたちの社会的自立を継続的に支援していきます。
- 4 中学生を対象に職業体験イベントを開催し、地元企業の魅力に触れる機会を提供することで、地元就職意識の醸成も図ります。

### ALT

「Assistant Language Teacher」の略。小学校の学級担任や中学校の英語科担当教員が行う授業の補助を行う英語が堪能な外国人講師。